

## 東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金推薦申請書

様式 1

## 東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金運用管理委員会 御中

以下により応援金の推薦申請をいたします。

|  |   |       |      |
|--|---|-------|------|
| 申請日  | 2021 年 12 月 27 日  |       |      |
| 団体名  | 特定非営利活動法人 Dialogue for People (ダイアローグ フォー ピープル/D4P)   |       |      |
| 代表者氏名  | 佐藤慧   | 実施責任者 | 船橋和花 |
| 連絡先  | Mail: info@d4p.world  |       |      |
|  | TEL: 03-5942-7699   |       |      |
| * 事務局からの連絡・書類の送付は、全て実施責任者宛に行います。事業の内容について日常的にお問合せのできる方を実施責任者として選定してください。 |   |       |      |
| <b>推薦団体活動内容概要</b>  |   |       |      |
| 団体設立年月日  | 2019 年 3 月 23 日   |       |      |
| 法人格取得日   | 2019 年 5 月 22 日   |       |      |
| 助成対象となる事業内容  | <p>発災からの時間の経過、域内の立入制限、報道の減少、コロナ禍によって、原発事故の影響や津波被害、現地の今を知るすべが限られています。直接的な支援とともに、現地に暮らす方々が何を感じ、考え、どのような未来を思い描いているのかを知ること、「震災から 11 年」以降の東北への寄り添い方を情報の受け取り手とともに考える機会を創出したいと考えています。</p> <p><b>(1) 東日本大震災被災地域（福島県）での取材とメディア発信</b><br/> 時間の経過と共に、世の中的な認識としては緊急支援からフェーズの移り変わる中で、中間貯蔵施設の扱いなど、依然として当時から解決されないまま事態だけが進行していく出来事が散見されます。地元の方々の問題（もしくはそれを助ける支援）ではなく、社会の問題として、我が事として捉え直すためのきっかけづくりとして、取材とメディア発信を行います。<br/> 具体的には大熊町・富岡町をはじめ、原発事故の影響を受けた地域を訪れ、同地域の現状やゆかりを持つ方々を複数取材し、自社（他社）媒体でのメディア発信を行います。Web サイトでの取材レポートや、YouTube（配信番組含）、そのほか新聞・雑誌・ラジオ・テレビなどで多角的に発信を行う予定です。</p> <p><b>(2) オンライン福島スタディツアー～震災から 11 年、福島で未来を語る[仮]</b><br/> オンライン形式の「スタディツアー」を想定。①D4P のこれまでの東北（福島）取材報告②帰還困難区域とオンライン中継し、訪問を疑似体験（想定先：大熊町／富岡町）③現地で活動している方のお話を聴く④参加者が関心を行動に移す一歩を踏み出しやすくするため、シェアリングタイムを設けます。また、参加者だけでなくより広く伝えていくため、当日映像のアーカイブ公開や自社（他社）媒体でのレポート記事の公開も行います。新型コロナウイルス感染拡大の影響から現地への取材が難しい場合は、完全リモートで各地をつなぐかたちでの企画開催を目指します。</p> <p>※2022 年開催時に貴会にも広報協力をいただく、中高大学生向け「オンライン東北スタディツアー」ですが、同企画の実施にあたっては対象世代以外の方々からも参加の問い合わせがあるため、上記の企画は対象年齢に制限のない形での実施を考えております。一方、中高大学生の皆さんにも好評の企画形式ではあるので、次世代にも参加を呼びかけ「次世代と“ともに考える”」ような構成にしていく予定です。</p> |       |      |
| 支援対象者  | 東京電力福島第一原子力発電所がある福島県大熊町をはじめとする近隣市町村の帰宅困難地域周辺に暮らす、もしくはかつて暮らしていた方々。原発事故の影響から、震災以前の日常を失ってしまった方々全般。   |       |      |

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p>応援金使途</p>                      | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>(1) 東日本大震災被災地域（福島県）での取材とメディア発信</b></p> <p>① 旅費交通費<br/>           新幹線代（往復）2名・5回 200,000 円<br/>           宿泊費 2名・5回 100,000 円<br/>           レンタカー（保険・燃料費込／事前・当日）1泊2日 100,000 円</p> <p>② 取材関連費<br/>           資料費 20,000 円<br/>           協力者謝礼等 30,000 円</p> <p>③ 企画製作費<br/>           映像制作費一式 80,000 円<br/>           消耗品費用 20,000 円<br/>           事業管理費 50,000 円</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>(2) オンライン福島スタディツアー[仮]～震災から11年、福島で未来を語る</b></p> <p>① 謝礼<br/>           ゲスト謝金（2名） 40,000 円<br/>           配信サポート謝金（1名） 20,000 円</p> <p>② 旅費交通費<br/>           記録係新幹線代（往復 事前・当日） 40,000 円<br/>           記録係前日宿泊費（事前・当日） 30,000 円<br/>           記録係ーレンタカー（保険・燃料費込／事前・当日） 35,000 円</p> <p>③ 配信システム費・機材費 50,000 円</p> <p>④ 当日茶菓（飲み物他・会場ごと） 5,000 円</p> <p>⑤ 企画製作費<br/>           事後映像制作費一式 100,000 円<br/>           当日運営費（日当等含む） 100,000 円<br/>           その他消耗品費用 30,000 円<br/>           事業管理費 50,000 円</p> </div> </div> <p style="text-align: center; background-color: #fff9c4;"><b>(1) + (2) = 合計 1,100,000 円</b></p> |
| <p>当生協との関係性</p>                   | <p>これまで講演や企画協力などを通じて、貴会には弊会の活動を深くご理解いただき、応援をいただいております。講演などの反応からも、貴会員のみなさまや貴会が発信される情報に注目されている方々は、情報を受け取ったのち、「自分ができることは？」を考えてくださる方が多く、団体間の連携を一層深める方法を模索しておりました。</p> <p>例えば貴会で取り組まれてきた福島での活動や、その先にいらっしゃる現地の協力者の方々とつながりをつくることで、発信の多角化につながります。会員の方々はじめ社会に広く原発事故の影響を受けた現地の状況を知っていただくきっかけを貴会と“共に創出”することで、双方の活動の将来的なシナジーを生み出す一歩となれればと考えています。</p>   |
| <p>申請する応援金の予定額<br/>※上限 100 万円</p> | <p style="text-align: center; background-color: #fff9c4;"><b>1,000,000</b> 円 ※応援金確定額ではありません。</p>   |

**※当申請書の提出期限は、2021 年 12 月 27 日（月）必着**

**<注意事項>**

- ・対象となる活動期間は 2022 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日までです。
- ・申込時点で未実施のものは、予算（見込）額を申請してください。
- ・活動期間内に申請した企画を行わなかった場合は返金となります。また、申請額より実費が下回った場合は、その差額を返金していただきます。